

令和6年度第3回大野城市国民健康保険運営協議会（議事録）

- 1 日 時 令和6年12月27日（金） 午後2時00分～午後2時45分
- 2 場 所 大野城市役所 本館4階 全員協議会室
- 3 出席者等
  - (1) 出席委員7名
  - (2) 市民生活部長・国保年金課職員（事務局）
- 4 次 第
  - (1) 議事録署名委員の指名
  - (2) 議 事

令和7年度大野城市国民健康保険税の見通しについて

事務局から配布資料に基づき順に説明

（県による事務費納付金及び標準税率の仮算定結果の概要等）

主な質疑等

- 委 員 本市の医療費水準が低い要因は何か。
- 事務局 年齢や所得水準などもあるが、本市の保健事業に関する取組状況については、全国や県よりも良い状況であることが数値上も現れており、その成果でもあると考えている。
- 委 員 県内の医療費水準について、福岡都市圏は低く、県内他の地域は高い状況となっているが、何か要因はあるのか。
- 事務局 県としてもその要因分析まではできていないようである。
- 委 員 給食の無償化など子育て世代への支援策が話題となる一方、市税収入は下がってしまう恐れがあると報道されているが、そのことにより国民健康保険への財政面での影響はあるのか。
- 事務局 国民健康保険は特別会計の中で、保険税収を基本として成立しているため、大きな影響はないと考えている。
- 委 員 医療費総額が前年度より下がる見込みとのことだが、例えば生活保護受給者が増えているとか要因はあるのか。
- 事務局 医療費総額の減少は被保険者数の減少が大きな要因であり、一人当たりの医療費は微増である。被保険者数の減少も生活保護受給者の増加よりは後期高齢者への移行や社会保険への加入に伴

うものが多くなっている。

委員 今後、県内の保険税率の統一が進んでいく中で、医療費水準の低い本市の負担が増えていくということだが、県はどのように考えているのか。

事務局 県としては、医療費水準の高い上位 10 市町村に対し、特定保健指導や特定健診の受診率向上など、保健事業の取り組み強化に向けた指導を進めている。県の保健師が直接指導に携わるなど、医療費水準が高い市町村に特化した取り組みが行われている。

会長 大野城市としては、医師や被保険者自身の努力もあり、医療費水準が低いという結果が出ているので、そうした努力が報われるような進め方であれば良いなど考える。

事務局 随時、県に対し、意見を申し出ていきたい。

### (3) その他

事務連絡